

『雄国沼 利用状況』 報告書

1. 【目的】

雄国沼の適正な利用の為、利用状況について調査した

2. 【結果】

雪が消え、登山道が現れる5月中旬から利用者がでてくる

6月の雄国山開き以降は、レンゲツツジ、ニッコウキスゲなどが開花を迎え開花が終わる7月中旬まで利用者が増大する

- (1) 雄子沢から外輪山内に入り、休憩舎と雄国山との分岐点までの間が、毎年5月中旬～下旬の融雪で登山道が水没する
回避するためにズミ、レンゲツツジ等の低木林内に道ができてしまう
- (2) 雄子沢は猫魔ヶ岳からのルート、ラビスパからのルートより標高差が少なく、なだらかな事から利用者が多い
雄子沢口から1, 3km地点付近は谷側に登山道面が傾き、且つ、下り方面の場合はバランスを崩しやすい
生徒が滑落している
- (3) 雄子沢口から2, 3km地点から外輪山内に入る間は登山道に傾斜があり、雨後は土砂が流れやすい
利用圧も加わって登山道が堀下がっている
- (4) 猫魔ヶ岳から猫石に向かう下りの階段の損傷が激しい
猫石から1本目の沢までの登山道も雨水が流れ堀下がっている
- (5) ニッコウキスゲの開花ピークを迎える6月下旬～7月上旬は、雄子沢口駐車場が早朝から満車となり、桧原湖（雄子沢川河口付近）まで車道に路上駐車が増える
- (6) 雄国沼湿原の木道が単線の為、混雑時はゆっくり歩くことができない
また、木道の損傷が激しい
- (7) 雄国山と休憩舎との分岐～休憩舎間の登山道が堀りさがっている

3. 【考察】

- (1) 登山道損傷箇所、木道の補修が望まれる
- (2) 利用者が特に増大する6月下旬～7月上旬の雄子沢駐車場の利用を調整する必要がある

4. 【概要】

(1) 実施期日

- ・平成22年5月18日
- ・平成22年5月27日
- ・平成22年6月10日
- ・平成22年6月29日
- ・平成22年7月1日

(2) 調査者

清水 秀俊（もくもく自然塾 オーナー）
高橋 真希（もくもく自然塾 ガイド）

(3) 調査項目および結果

登山道損傷箇所図

P3に示す

写真

P4に示す